

記入例(2)

令和 3 年度 償却資産種類別明細書 (資料用)

所有者名	○△建設	所有者コード	000000000
------	------	--------	-----------

連番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (円)	耐用年数	減価残存率	年度		の課税特標準額	増加事由
					年号	年	月				評価額 (円)	課税標準額 (円)		
1	1	00000010	舗装路面	1	4	29	2	5,000,000	10	0.794	2,245,038	2,245,038		
2	1	00000011	看板	1	4	31	1	2,500,000	20	0.891	2,104,987	2,104,987		
3	2	00000012	パワーショベル	1	4	24	4	8,900,000	5	0.631	445,000	445,000		
4	6	00000013	クーラ	1	5	2	10	1,500,000	6	0.661	750,000	750,000		
	2	00000014	太陽光パネル	1	5	2	1	3,000,000	17	0.936	2,808,000	2,808,000	1	
	6	00000015	エアコン	1	5	2	9	500,000	6	0.840	420,000	420,000	1	

※この明細書には、前回申告された全ての資産について、今年度の価格等を記載してありますので、申告書作成の際に参考とさせていただきます。

【新規取得及び全資産、増加資産について】
 ※送付した明細書の空欄に追加資産をご記入ください。
 新たに取得された償却資産について次の事項を参考にご記入ください。
 ■資産の種類 該当する数字をご記入ください。
 「構築物」→1 「機械・装置」→2 「船舶」→3
 「航空機」→4 「車両・運搬具」→5 「工具・器具・備品」→6
 ■資産の名称等 増加した資産の名称をご記入ください。
 ■数量 取得数量をご記入ください。
 ■取得年月 年号については「昭和」→3 「平成」→4 「令和」→5
 ■取得価格 取得価格をご記入ください。
 ■耐用年数 適用する耐用年数をご記入ください。
 ■増加事由 該当する事由の数字をご記入ください。
 「新品取得」→1 「中古品取得」→2
 「移動による受け入れ」→3 「その他」→4

【減少資産について】
 減少した資産がある場合は次の事項を参考にご記入ください。
 ■減少した償却資産を赤のボールペン等で見え消しをしてください。
 ■取得年月の上に減少年月をご記入ください。

4:航空機 5:車両及び運搬具	累計												
6:工具、器具及び備品													通番

※注意「増加事由」の欄は「1:新品取得」、「2:中古品取得」、「3:移動による受け入れ」、「4:その他」のいずれかの番号を書いてください。